

議題 1 平成 19 年度事業報告について

〔1〕 文化財保護審議会

月 日	場 所	内 容
6 月 15 日 (金)	市役所本庁舎	○協議事項 (1)平成 18 年度事業報告について (2)平成 19 年度事業計画について (3)文化財の指定について
11 月 28 日 (水)		○協議事項 (1)文化財の指定について (2)その他
11 月 28 日 (水)	美濃加茂市	○視察研修 土田氷場、太田宿、坪内逍遙つばきの部屋

〔2〕 (仮称) 歴史民俗資料館整備事業

事 業 名	内 容
(仮称)歴史民俗資料館整備事業	中央公民館の再整備事業の中で、考古・民俗資料の一元的管理と展示室の確保の検討。

〔3〕 文化財保護の啓発

事 業 名	事 業 内 容
考古企画展 「春日井の食文化」	市内の遺跡から出土した食にまつわる土器・石器・木器などを展示し、春日井の食の歴史や文化について紹介した。 開催期間 11 月 7 日 (水)～11 月 18 日 (日) 会 場 文化フォーラム春日井・ギャラリー 来場者数 1,507 人
民俗企画展 「明かりの世界」	古代から現代までの「明かり」の変遷を市内で収集した資料により紹介した。 開催期間 2 月 19 日 (火)～2 月 29 日 (金) 会 場 市役所 1 階市民ホール 来場者数 1,008 人
第 17 回ハニワまつり	市民参加により、ハニワを制作・野焼きし、ふれあい緑道 (ハニワ道) に設置した。古代の技術を体験する体験工房 (勾玉づくり、ミニハニワづくりなど) を実施した。 開催日 10 月 28 日 (日) 会 場 二子山公園 参加者 8,492 人

事業名		事業内容
第15回春日井シンポジウム 「日本の食文化に歴史を読む～東海の食の特色を探る～」		『日本の食文化に歴史を読む』をテーマに地元・全国を代表する考古・歴史学者等が2日間にわたって講演及び討論を行った。 開催日 11月10日(土)・11日(日) 会場 市民会館 参加者 1,050人
第9回 内津文化財祭		市民に内津の歴史や文化財を身近に感じてもらうことを目的として、文化財講話「内々神社庭園—日本人の自然観—」と、歌会や茶会を行った。 開催日 10月14日(日) 会場 内々神社 参加者 750人
東海学セミナー		歴史・文化に対する市民の関心を一層高めるため、セミナーを開催した。 テーマ「山と川と海の食～古代からの食文化」 6月30日(土)第1回「伝えておきたい岐阜県山間部の食」 7月14日(土)第2回「伊勢湾周辺における古代漁撈活動について」 7月28日(土)第3回「篠島の古代と漁業」
郷土館 活性化 事業	郷土館茶会	郷土館を市民にPRし、親しめるよう茶会を開催した。 開催日 4、7、9、11、1、3月の各第1日曜日
	親子教室	竹トンボなどを作り、遊び方の指導を行った。 開催日 6月16日(土)
		竹を使って昆虫の作り方の指導を行った。 開催日 9月1日(土)
		お手玉を作り、遊び方の指導を行った。 開催日 3月1日(土)
文化財防火デー		かけがえのない文化財を火災から守り、次の世代へ継承していくために、防火訓練及び指定文化財所蔵寺社の防火査察を実施した。 ◇防火訓練 実施日 1月22日(火) 場 所 密蔵院 ◇防火査察 実施日 1月25日(金)、29日(火) 場 所 観音寺ほか16ヶ所
「郷土誌かすがい」の発行		郷土史等の調査研究の発表の場とするとともに、市民が郷土の歴史や文化財に親しめるように発行した。 第66号(平成19年11月1日) 2,500部発行

〔４〕文化財の調査・記録

事業名	事業内容
民俗・歴史資料の収集及び記録・整理	衣食住及び生業に関する資料を中心に収集し、整理・記録した。
民俗聞き取り調査	熊野・桜佐地域の自然に関する風習や伝承の聞き取り調査を行った。
埋蔵文化財調査 埋蔵文化財緊急発掘調査及び範囲確認調査	発掘調査 白山神社古墳、大留東島遺跡 確認・試掘調査 大留城跡始め開発等に伴う確認・試掘調査
「平成 19 年度市内遺跡調査概要報告書」の発行	平成 19 年度の国庫補助対象事業として実施した大留東島遺跡などの確認・試掘調査の概要を報告書として発行した。

〔５〕文化財の保護・保存

事業名	事業内容
指定文化財の保護・保存のための補助	市内の指定文化財の保護保存のため補助金を交付した。 〔恒常的な補助〕 史跡等環境整備 内々神社庭園始め 4 件 火災報知設備点検 密蔵院多宝塔始め 5 件 後継者育成 小木田の棒の手始め 2 件 〔臨時的な補助〕 有形文化財修理 下街道の古井戸始め 2 件 用具等の修理購入 小木田の棒の手始め 2 件
郷土芸能伝承事業への補助	市内の各地に伝わる郷土芸能の後継者育成及び保存伝承に必要な用具等の修理、購入に対し補助金を交付した。
史跡等清掃委託	文化財の保存を図り地域に密着した文化財愛護意識を育てるため、古墳等の清掃を地元の町内会等に委託した。

議題2 平成20年度事業計画（案）について

◎推進目標

市内には、本市の歴史を物語る文化財が多く残されている。こうした貴重な文化財を現代に生かし、後世に伝え、市民の文化の向上に役立つよう、市民参加による歴史のまちづくり、伝統文化継承に繋げる施策、文化財等の調査・保護に関する活動史跡・文化財の啓発を推進する。

〔1〕文化財保護審議会

会 議 名	内 容
文化財保護審議会 (委員8名)	教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存・活用について審議・答申をする。あわせて専門家の立場から、文化財の調査・報告をする。

〔2〕文化財ボランティアの育成

事 業 名	内 容
文化財ボランティア養成講座	歴史と伝統文化を地域や次世代を担う子どもたちへ伝える担い手を育成するため、文化財ボランティア養成講座を実施する。

〔3〕文化財保護の啓発

事 業 名	事 業 内 容
考古企画展 民俗企画展	文化財愛護思想を普及啓発し、文化財への理解を深めるため、考古・民俗・歴史関係の資料を文化財保護強調週間等にあわせて展示する。
第18回ハニワまつり	市民参加により、ハニワを制作・野焼きし、ふれあい緑道（ハニワ道）に設置する。あわせて体験工房等を開催する。 日 時 平成20年10月25日(土) 場 所 二子山公園
第16回春日井シンポジウム	郷土の歴史に対し、市民の理解と認識を深めるとともに、古代史から「歴史のまち春日井」を広く全国にアピールする。また、シンポジウムの内容をまとめた収録本を発刊する。 日 時 平成20年11月8日(土)・9日(日) 場 所 市民会館
東海学セミナー	地域の歴史、文化に対する市民の関心を一層高めるため、セミナーを開催する。(年3回講座)

事業名	事業内容
郷土館事業	郷土館の活性化を図り、広く市民に知ってもらうため、茶会講座等の文化事業を行う。 ◇ 郷土館茶会 年6回開催 ◇ 竹細工、お手玉 年3回開催
第10回内津文化財祭	市民に歴史や文化財を身近に感じてもらうことを目的として文化財の講演や指定文化財の展示、歌会、茶会等を行う。 日時 平成20年10月12日(日) 場所 内々神社
文化財防火デー	かけがえのない文化財を火災から守り、次の世代へ継承していくために、防火訓練及び指定文化財所蔵寺社の防火査察を実施する。 ◇防火訓練 年1回実施 ◇防火査察 年1回実施
「郷土誌かすがい」の発行	郷土史等の調査研究の発表の場とするとともに、市民が郷土の歴史や文化財に親しめるように発行する。(年1回発行)
展示場	考古・歴史・民俗資料を展示し、市民の郷土学習の場とする。 ◇郷土館：下街道に関連のある交通・交易資料等を展示 ◇民俗展示室：昔の農具や生活用具等を展示 ◇考古展示室：市内遺跡から出土した遺物を展示 ◇ハニワの館：二子山古墳から出土した埴輪等を展示

〔4〕文化財の調査・記録

事業名	事業内容
民俗・歴史資料の収集、整理、保存	かつて日常で使われていた、衣食住及び生業に関する資料を中心に収集し、整理・記録する。
民俗聞き取り調査	玉野地区の自然に関する風習や伝承を聞き取り調査し、記録する。
埋蔵文化財緊急発掘調査及び範囲確認調査	区画整理事業等の土木工事で破壊されるおそれのある埋蔵文化財について調査し、記録・保存する。
出土遺物の整理	発掘調査によって出土した遺物を整理し、保存する。
「発掘調査概要報告書」の発行	平成20年度に行う発掘調査の概要をまとめ、報告書として発行する。

〔５〕文化財の保護・保存

事業名	事業内容
保護保存のための補助事業	市内の指定文化財、郷土芸能について、その恒常的整備や後継者の育成及び防火設備の点検などに、補助金を交付する。
史跡等清掃委託	文化財の保存を図り地域に密着した文化財愛護意識を育てるため、古墳等の清掃を地元の町内会等に委託する。